

## NPO 法人臨床トンネル工学研究所 会員宛ダイレクト・メール配信規程

本規程は幹事会の審議の後、理事会の承認を持って制定する。また、改訂に際しては、幹事会の審議の後、理事会の承認を持って改訂する。

制定：2012年9月18日

改訂：

1. 発信元（発信権者）は以下とする。

- ① 事務連絡等 に関するもの                   ： 事務局、理事
- ② 各部会活動 に関するもの                   ： 担当幹事
- ③ 小委員会活動 に関するもの               ： 理事長もしくは幹事長
- ④ その他、技術情報等 に関するもの       ： 理事、幹事
- ⑤ 部会業務以外の活動に関するもの       ： 幹事長、実行委員長

\* 1 技術情報等とは、本研究所以外の学会、協会等の活動情報等であって、その情報を直接会員に伝達することによって会員の利益となるものを言う。

\* 2 部会業務以外の活動とは、特別講演会の開催等、平常の部会活動の範囲外で行う各種活動全般を言う。

2. 配信漏れを防ぐため、全ての会員宛ダイレクト・メールは事務局から配信するものとし、発信権者からの直接配信を禁じる。

3. 事務局への配信依頼は別紙1「会員宛ダイレクト・メール配信依頼要領」および、別紙2「会員宛ダイレクト・メール例文」に従う。

## 別紙1：会員宛ダイレクト・メール配信依頼要領

### 1. メールの【件名欄】・・・どういうDMかがわかるように、タイトルを付ける

(例-1) 臨床トンネル工学表彰記念講演会のご案内

(例-2) 会報誌「スクランブル交差TN」原稿募集の御案内

### 2. 【メール本文】

#### 2-0 “（本文のはじめ）” と明記する

##### 2-1 [宛て先]

(例-1) NP0 法人臨床トンネル工学研究所 会員各位 (or 会員の皆様へ)

(例-2) NP0 法人臨床トンネル工学研究所 賛助(or 正)会員各位

(例-2 は、必要に応じて宛先を限定する場合)

##### 2-2 [タイトル(見出し文章)]・・・必要に応じて。省略も可能。

(例-1) 会報誌「スクランブル交差TN」原稿募集の御案内

(例-2) 臨床トンネル工学研究所ホームページに現場ホームページのリンクを掲載しませんか？

##### 2-3 [前文(時候の挨拶)]

(例-1) 日頃より(平素より)、本研究所の活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

(例-2) 残暑厳しき折ですが、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます

##### 2-4 [本文]

“さて、・・・

・・・致します”

##### 2-5 [差出人名]・・・書き出し位置を 10～15 文字分、段下げする

(例-1) 平成 24 年〇月〇日 (or 平成 24 年〇月)

部会名、氏名

##### 2-6 “（本文のおわり）” と明記する

※DMには、2-1～2-6 (2-2 は必要に応じて) が表示される

### 3. メールの【署名欄】

※メールの署名が事務局のみの表示になるよう留意する(依頼人の署名が重複しないようにする)。

→依頼人の署名表示が残っている場合は、DM発信時に事務局にて削除する。

別紙2：会員宛ダイレクト・メール例文

[メールの件名] 会報誌「スクランブル交差TN」原稿募集のご案内

(本文のはじめ)

(次の行から本文が始まることを示す)

NPO 法人臨床トンネル工学研究所 会員の皆様

(宛て先)

会報誌「スクランブル交差TN」原稿募集のご案内

(タイトル；必要に応じて)

日頃より本研究所の活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。 (前文)

さて、本研究所では会員相互の交流を目的とした

会報誌「スクランブル交差TN」の第3号の原稿を募集いたします。

(本文)

添付資料をご確認の上、奮っての応募をお願いいたします。

平成24年9月4日

会報部会

担当幹事 中田雅博

(差出人)

(本文のおわり)

(前の行で本文が終わることを示す)

※「(本文のはじめ)」および「(本文のおわり)」は、事務局からのDM発信時には削除する。